

いのこしクラブ

平成26年9月老人保健施設いのこし
名古屋市名東区猪子石原1丁目1501番地

9月といえば

敬老の日、救急の日、重陽、菊の節句、十五夜、秋分の日、結核予防週間など思い起こされるでしょう。

今回は、重陽の節句と十五夜についてお話したいと思います。まず重陽の節句についてです。九（陽の数）が重なることから9月9日を重陽（ちょうよう）といいます。昔、中国では奇数を陽の数とし、陽の極である9が重なる9月9日は大変めでたい日とされ、菊の香りを移した菊酒を飲んだりして邪気を払い長命を願うという風習がありました。日本には平安時代の初めに伝わり、宮中では観菊の宴が催されました。菊の節句、菊の宴とも言われています。収穫の時期にもあたるため、庶民の間では「栗の節句」としてお祝いをしていました。今も大宰府天満宮の秋思祭（しゅうしさい）など、各地で菊を愛でる祭りや行事が催されています。

次に十五夜についてです。十五夜の日をお月見、中秋の名月、

芋名月とも呼ばれています。中国では、唐の時代から中秋の名月を鑑賞する風習があったようです。日本では平安時代の貴族の間に取り入れられ、次第に武士や町民広まりました。昔は、日の満ち欠けにより月日を知り、農業を行いました。十五夜の満月の夜は祭儀の行われる大切な節目でもあったようです。日本では昔から、同じ場所で十五夜と十三夜の両方を鑑賞する風習が一般的です。どちらか一方だけ鑑賞するのは「片見月」といって忌まれていたからです。今は十三夜は十五夜に比べてあまり一般的ではないようで、十三夜の頃に月見団子を販売していない和菓子屋さんもあるようです。

9月の誕生日者紹介

谷山 真早枝様	63歳	大西 光枝様	91歳
並松 敏博様	64歳	新聞 鈴子様	91歳
山田 耕様	83歳	乙部 福子様	92歳
青木 淳子様	84歳		

9月の行事予定

9月3日	誕生日会・香流保育園
9月17日	月間レク

